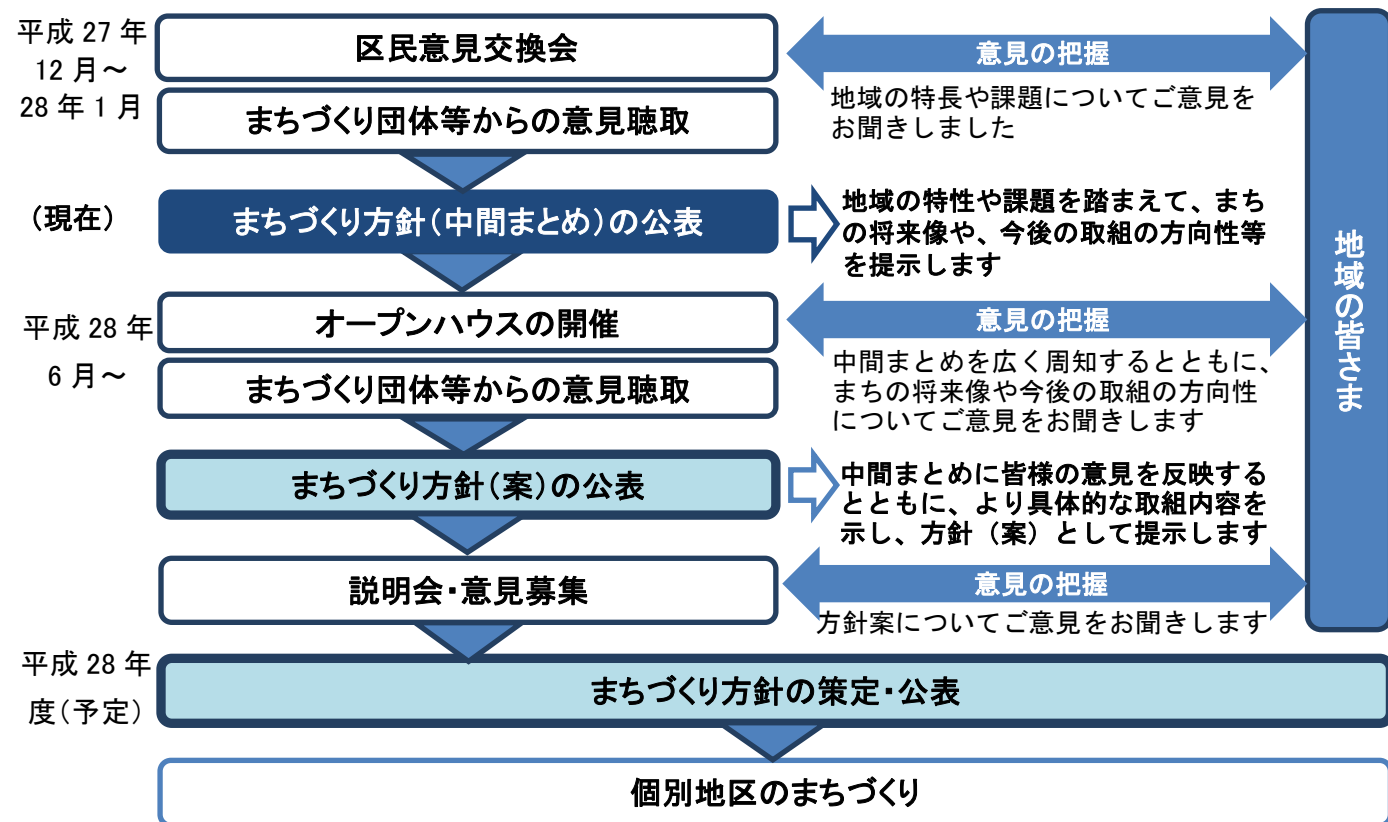


■まちづくり方針の策定プロセス

まちづくり方針の検討は、以下のスケジュールで進めています。



オープンハウスを開催します！

本ニュースでご紹介した「まちづくり方針中間まとめ」について詳しくご説明する「オープンハウス」(※)を下記のとおり開催します。事前の申し込み等は不要です。どなたでも参加可能ですので、ぜひご来場ください。(開催時間中は、いつでも都合のよいときに入場できます。)

(※) オープンハウス：会場に「中間まとめ」の資料を展示して職員が説明するとともに、皆さまからご意見を伺います

なお、「中間まとめ」の詳細や区民意見交換会の実施報告書は、杉並区のホームページでもご覧いただけます。(トップページ-区政情報-都市整備-駅周辺まちづくり-阿佐ヶ谷駅等周辺まちづくり)

オープンハウスの開催場所・日時 (全5回、すべて平成 28 年)

| | | |
|--|--|--|
| <p>阿佐谷地域区民センター第6集会室 (阿佐谷南 1-47-17)</p> <p>●6月19日(日) 14～17時 ●6月21日(火) 17～20時</p> | <p>パールセンターふるさと館2階 (阿佐谷南 1-36-10)</p> <p>●6月24日(金) 16～20時 ●6月25日(土) 11～15時</p> | <p>区役所中棟2階区民ギャラリー (阿佐谷南 1-15-1)</p> <p>●7月1日(金) 9～17時</p> |
|--|--|--|

お問い合わせ 杉並区 都市整備部 まちづくり推進課 拠点整備係
 電話：03-3312-2111 (内線 3383) FAX：03-3312-2907
 E-mail：matidukuri-k@city.suginami.lg.jp

阿佐ヶ谷駅等周辺 まちづくりニュース 創刊号

発行：平成 28 年 6 月
杉並区都市整備部まちづくり推進課

まちづくり方針の検討を行っています！ オープンハウスを開催しますので、皆様のご意見をお聞かせください！

杉並区では、JR 阿佐ヶ谷駅・東京メトロ南阿佐ヶ谷駅周辺を含む一帯の地域(阿佐ヶ谷駅等周辺)について、区民、事業者、行政がこの地域のまちの将来像を共有し、取組の推進を図るため、「阿佐ヶ谷駅等周辺まちづくり方針」の策定に向けて検討を進めています。

平成 27 年 4 月に庁内検討組織「阿佐谷まちづくり研究会」を設置して検討を開始し、12 月には「これからの阿佐ヶ谷駅等周辺まちづくりを考える区民意見交換会」を開催するなど、地域住民の方々からのご意見もいただきました。これらを踏まえ、このたびまちづくり方針の中間のまとめを行いましたので、その概要についてご紹介します。

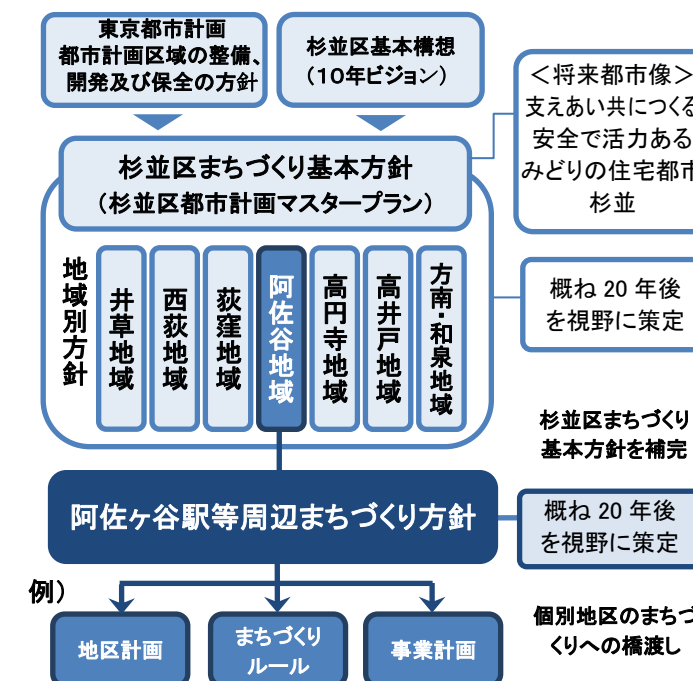
また、6 月 19 日から、中間まとめについて説明し皆様のご意見をお聞きする「オープンハウス」を開催します。ぜひご参加ください。(詳しくは 4 ページをご覧ください。)



区民意見交換会の様子

■阿佐ヶ谷駅等周辺まちづくり方針とは

- 既定の上位計画や関連計画等を前提としながら、『杉並区まちづくり基本方針(杉並区都市計画マスタープラン)』の地域別方針(阿佐谷地域)を補完するものです。
- まちの将来像やその実現のための取組の方向性を示す「まちのランドデザイン」として、区民・事業者・行政が共有します。
- 個別地区のまちづくりへの橋渡しをします。
- 『杉並区まちづくり基本方針』にあわせ、概ね 20 年後の未来を視野に入れて策定します。
- 対象区域は、阿佐ヶ谷駅から半径 500m、南阿佐ヶ谷駅から半径 250mを目安に、町丁目境や道路等で区切った範囲とします。(3 ページ図参照)



阿佐ヶ谷駅等周辺まちづくり方針 中間まとめ【概要】

策定の背景と目的

- 阿佐ヶ谷駅等周辺は、商店街・飲食街のにぎわいや優れた交通利便性と、周辺の閑静な住環境とが共存した成熟したまちです。
- 古くから区役所等の公共施設が集積するなど、官庁街（シビックゾーン）ともいべき区の中心的な拠点のひとつです。
- 後背地には基盤未整備な木造住宅密集地域を抱え、防災性の強化や基盤整備が喫緊の課題です。

まちづくりの契機

- 公共施設など、更新時期を迎えつつある建物が多くあります。
- 都市計画道路補助 133 号線の区役所前～五日市街道間（中杉通りの延伸）が、『東京における都市計画道路の整備方針（第四次事業化計画）』において優先整備路線（今後 10 年間に優先的に整備すべき路線）に位置づけられました。
- 地域主体でまちの将来像を考えるなどまちづくりの活動が活発化しています。

市街化が進み成熟した阿佐谷地域において、まちの課題を解消し、その良さを将来に向かって伸ばしていくためには、変化のきっかけを的確に捉えてまちづくりに取り組むことが不可欠です。これからの数年間を、将来のまちづくりにつながる数十年に1度の機会と捉え、戦略的にまちづくりを進めていくため、本方針を策定します。

将来像

○杉並の安全を支える防災中枢拠点 ○にぎわいとみどり豊かな住環境が共存し住み続けたいまち

課題である防災性の向上や道路・交通体系の改善に取り組み、杉並の安全を支える防災中枢拠点としての充実を図るとともに、時代が変化しても、まちの特長は変わらず、さらに伸ばしていくことで、誰もが愛着を持ち、住み続けたいと思えるまちを目指します。

まちづくりの目標

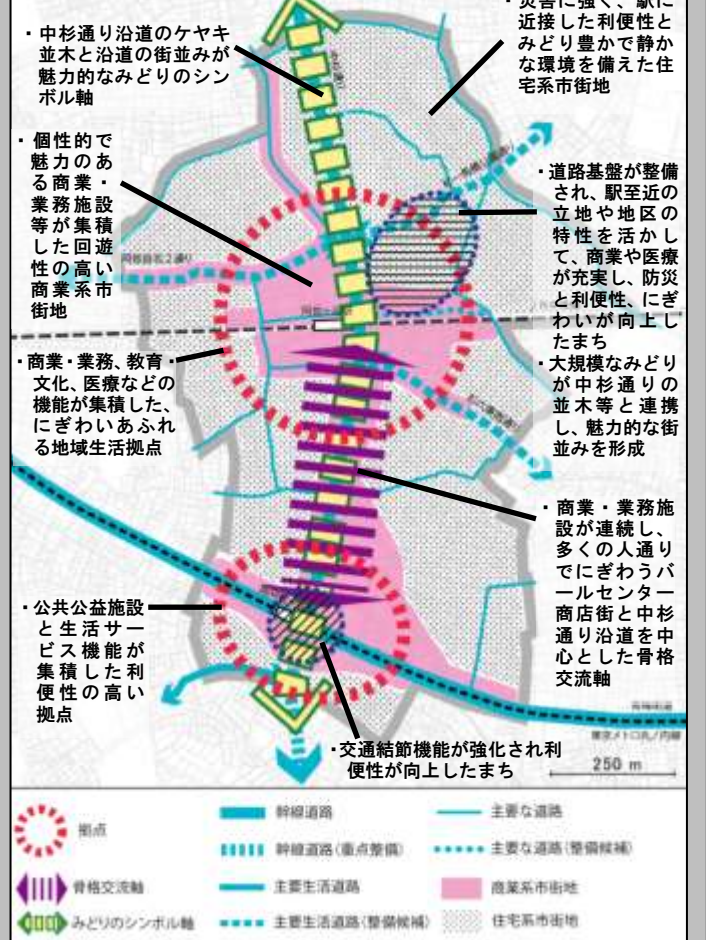
目標Ⅰ
災害に強い
安全・安心なまち

目標Ⅱ
体系的な道路・交通
が整備された
移動しやすいまち

目標Ⅲ
にぎわいや利便性が
さらに高まり、区民や
来街者が集い回遊
したくなるまち

目標Ⅳ
みどり豊かで美しい
景観を誇れるまち

将来のまちの姿



取組の重点化と体系化

将来像の実現には、多様な主体によるさまざまな取組を継続的に進める必要がありますが、着実かつ効果的にまちづくりを進めるため、以下のとおり、重点化の視点を定め、あわせて取組の体系化を図ります。

- 重点化の視点 A** 安全・安心など喫緊の課題の解消に効果の大きいもの
- 重点化の視点 B** 老朽化した施設の更新など、具体的なまちづくりのきっかけがあるもの

重点化の視点を踏まえ、右図に示す4つの取組を「重点的取組」として体系化します。これら重点的取組については、より具体的なまちづくりの方向性を示すとともに、今後地域住民や関係者と考え方の共通化を図り、優先的に取り組めます。

- 築 40 年を超える大規模建築物が見られる
- 一時避難地へのアクセスや緊急車両の通行に難
- 地域主体でまちづくりを考える動き

重点的取組(1) 阿佐ヶ谷駅北東地区のまちづくり

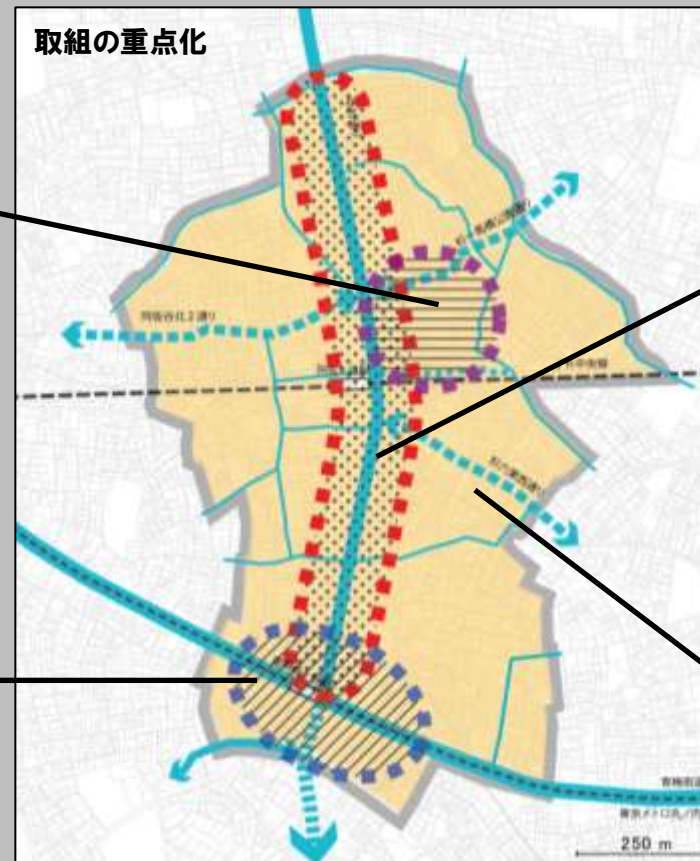
- 中杉通りから馬橋公園方面へのアクセスの向上
- 地域を支える医療拠点機能の向上
- 新進会商店街通りの通行環境の改善と沿道土地の有効利用
- JR中央線高架周辺の道路ネットワークの改善
- 中杉通り沿道でのオープンスペースの確保やにぎわいの創出
- みどりの保全・創出とネットワーク化

- 公共施設が更新時期を迎えつつある
- 中杉通りの延伸整備

重点的取組(2) 南阿佐ヶ谷駅周辺のまちづくり

- 施設更新等を契機とした拠点機能の充実による区民の利便性向上、まちのさらなる活性化
- 関係機関の連携による幅広い検討

取組の重点化



- 歩道へ歩行者・自転車が集中するなど、通行環境の安全性・快適性に課題
- 中杉通りの延伸整備や公共施設の更新等を契機とした駐車場・駐輪場の整備可能性

重点的取組(3) 中杉通り沿道の魅力的な街並み形成と快適な歩行者・自転車空間の確保

- 安全・快適な歩行者・自転車空間の確保
- 洗練された風格ある魅力的な街並みの形成
- 回遊性や快適性の向上
- にぎわいの連続性確保

- 後背地に広がる木造住宅密集地域
- 首都直下地震に備える必要
- 生活道路、狭あい道路の整備

重点的取組(4) 道路基盤の整備による防災性の向上

- 主要生活道路等の拡幅等の整備の検討
- 狭あい道路の整備